

きりとくだより



群馬県立桐生特別支援学校
学校通信 第11号 R7.1.8

あけましておめでとうございます

乙巳(きのとみ)の年は、努力を重ね物事を安定させていくという意味合いをもつ縁起のいい年だそうです。気候や景気の落ち着いた一年となるといいですね。

3学期は学習発表会があります。昨年度は特別支援学級と特別支援学校で発表日が分かれていましたが、今回は交流に重きをおいて、1月30日に小学部と小学校特別支援学級の発表、31日に中学部と中学校特別支援学級の発表を行うようにしました。同日とも作品展と作業製品販売を行いますので、たくさんの御来場をお待ちしています。

昨年来、桐特を人が集まる学校にしたいと考えています。いずれは学校を離れ、地域で生活する子どもたちの社会参加をどう進めるか。少しずつでも、共生社会に向け同年代の子や地域の方々の理解が深まるような取り組みをしていきたいものです。運動会で保護者の皆様が八木節の輪に参加していただいたように、桐特の輪に周りの人たちが加わってくれるような活動をPTAの皆様と協力して企画していきたいと思ひます。

下段の「校内研修について」にあります。先生方には一年間授業での学び合いを意識して取り組んでもらいました。学習段階に差はあっても投げかけ方しだいでは一緒に関わることができるはず。そうした工夫で共同学習を進めていく上でのヒントが得られると思ひています。

(校長 近藤 照久)

校内研修について

本校では、よりよい授業作り・教育活動を行うことを目指して、先生方が校内研修に取り組んでいます。

今年度のテーマは「学び合い、主体的に学ぶ授業づくり～国語、算数・数学の授業における振り返りシートの活用を通して～」です。国語、算数・数学を中心に、児童生徒が学習指導要領の様々な領域に触れられるよう単元や学習活動を設定し、個別学習のみでなく、協同学習を取り入れることで、子ども達が学び合い、主体的に学べる授業づくりを実践しています。実践した授業を学期ごとに振り返り、単元ごとの振り返りシートを活用し、授業改善を図っています。今年度は、学習指導要領の各領域の目標・学習内容に沿って、学年ごとにバランスよく取り組めるよう、年間指導計画の改善にも取り組んでいます。

また、昨年度に引き続き、今年度も県教育委員会の取組である「強度行動障害に関する共同研究」に研究協力校として参加し、県主催の講演会を聴講したり、県の指導主事、のぞみの園の職員らと連携して事例研究に取り組んだりしています。

3学期は、1年の研修を振り返り、研修のまとめを行う予定です。児童生徒の成長につながることを目指して、これからも研修を重ね、日々の授業に生かしていきたいと考えています。



降雪時の対応について

万が一、降雪等により、学校の授業時間等に変更がある場合は、「ぐんまスクールネットメール」にて御家庭に連絡いたしますので、ご承知おきください。



感染防止対策

インフルエンザや新型コロナなど、感染症の流行が心配な季節となりました。御家庭におきましても、引き続き、感染防止対策に努めていただきますよう、お願いいたします。児童生徒に、のどの痛み、咳、鼻水、熱や下痢、嘔吐等の風邪症状がある場合は、無理をせず、自宅で様子を見ていただきますようお願いいたします。

なお、風邪を引きにくい強い体を作るためにも、食事、睡眠、運動等バランスのとれた生活習慣を心がけていただきますよう、引き続きよろしくお願いいたします。



※保護者の皆様には本校の教育活動についてのアンケートに御協力いただき、ありがとうございました。皆様の御意見をもとに、よりよい桐特を目指していきたいと思ひます。結果は後日、報告させていただきます。